ほっとハート東出雲学園 松江市立揖屋小学校・学校だより

# 揖屋っ子

令和8年度 第6号
令和8年 10月16日
文責 校長

学校教育目標「自ら学び、考え、人とかかわりながら、たくましく生きる揖屋っ子の育成」
自立　協働　創造

## 学習の実践状況等について

各学校では、子どもたちの教育に関する研究テーマを設け、教職員でよりよい学校環境や、子どもたちの育成を考えています。本校の今年度の研究の取組は下記のようなテーマとなります。

自分の考えをもち、仲間とともに探究する子どもの育成
～ 国語科を軸に、ラーニング・コモンズを活用した探究的な学びの実現に向けて～

この研究テーマは、学校教育目標の中の目指す子ども像にある「学ぶ楽しさを味わえる授業づくり」「主体的に学習に取り組むことのできる授業づくり」を実現するための実践研究となります。本校では問いや課題設定の工夫を考え、子どもたちが主体的に学びを進めることができることを目指しています。

各教員はこれをもとに授業力向上を目指し、子どもたちの学力育成や向上に努めているところです。2学期は特に、各教員が自身の授業実践を校内外で公開し、事前事後の協議によって深めています。





一方で現在の子どもたちの学習状況を把握するために、4月に6年生が行った全国学力調査（学力テスト）について、夏季休業中に教職員で分析研修を行っています。6年間の学習内容の積み上げで行われるこの調査について、まずは教職員全員で問題を解きました。その後、子どもたちの回答の実態や傾向を探りました。

結果分析については、後日、松江市教育委員会よりあらためて公表が予定されています。

この研修では、問題を教職員全員で解くことによって、各学年で押さえるべきことや、どの学年での学習が重要となるかなど、学年を越えた、日常の学習活動での対応策を考えることができました。

「読むことと書くことを連動させた漢字指導の必要がある」「児童の強みである図の活用意識を活かし、5年の『単位量あたりの大きさ』や『割合』の学習をさらに充実させ定着を図る必要がある」など、6年間の学習の課題を捉えながら、具体的な改善策について話し合うことができました。

今後も、分析と実践を行いながら、子どもたちの学力向上や学習の充実の達成を目指していきたいと思います。





## 5年生　稲刈り体験　お米の収穫をしました

5年生は年間テーマとして「日本のステキ発見ツアー」と題し、教科横断的に学習を進めています。この学習の一貫として、お米作りを行っています。東出雲おちらと村（NPO 法人かみいとう）に田んぼをお借りして田植えを行った5月から、見事に穂が実り、地域の皆様にお手伝いいただいての稲刈り体験となりました。




まずは、稲を束ねる、より縄を作成するなど、昔から行ってきた作業に苦戦しながらも受け継がれる作業を行いました。

そして、かまを使って、刈り取り、束ねて干す。米作りを行ってこられた人々の作業をしっかりと経験しました。子どもたちは、「お茶碗一杯、3000～4200 粒。一粒一粒、大切に残さず食べたいと思いました。」や、「昔から受け継がれてきた稲刈りを知ることができてよかったです。」など、学びを深めることができました。

## 6年生　♪松江市小中学校連合音楽会♪　参加




松江市小中学校連合音楽会に6年生が出演しました。今年度は県民会館改修中により、松江プラバホールでの開催です。（11月29日～マーブル放送予定）

２つの合唱「いのちの歌」と「風になりたい」を披露しました。これまで、担任の先生たちと共に、歌詞の意味を伝えることや、強弱をつけることなど、しっかりと練習してきています。ステージではこれまで積み上げてきた過程を大切にし、それぞれが一生懸命表現する様子に感動しました。

揖屋小学校の代表として、素晴らしいステージでした。

## PTA 奉仕作業、親子活動

9 月に PTA 奉仕作業と親子活動が行われました。





親子活動は、東出雲太鼓夢玄の皆様にお越しいただき、演奏や体験を行ってもらいました。迫力のある演奏を聞いたり、実際に叩いて、演奏をしてみたりと、とてもよい時間となりました。

奉仕作業は新校舎になって、なかなか手が付けられなかった部分など、しっかりときれいにしていただきました。両活動とも、計画、ご参加いただきありがとうございました。

## 更生保護女性会様より図書カードをご寄贈いただきました

東出雲地区更生保護女性会様より、図書カードをご寄贈いただきました。いただいた浄財を大切に活用し、子どもたちの学習や読書に役立つ図書を購入させていただきます。ありがとうございました。